

2020 年度

日本作業科学研究会 第 15 回総会 議案書

*Japanese Society for the Study of Occupation*

日時：2020 年 8 月 24 日（月）～8 月 30 日（日）

場所：オンライン

\*\*\*\*\*総 会 次 第\*\*\*\*\*

会長挨拶

昨年度、日本作業科学研究会は日本学術会議協力学術研究団体として認定されました。機関誌「作業科学研究」は 13 巻を発行し、J-STAGE から無料閲覧できるようになりました。学術分野における本会の活動がますます期待されることになると考えていたところ、新型コロナウイルスの感染拡大に世界が見舞われました。年に 1 回の集まりも、今年度からこれまでのセミナーを、学術大会へと名称変更して開催する予定でしたが、感染拡大防止のために来年度への延期としました。総会もオンライン開催となります。

本会の新年度開始は 6 月で、先月の役員選挙で、新理事が 4 名を迎えます。2014 年度から会長となった私も任期 3 期を満了しました。本会が、作業について語り、対話し、研究する場となることを念じて会長を務めてきました。

例年とは異なる日常がこれからも続くことが予想されます。馴染みのない作業も、その気になって考えてやってみることで、困難な状況を克服できるかもしれません。今が作業の知識を自らの生活という実践で生かすチャンスととらえていきましょう。（吉川 ひろみ）

議案

- 第 1 号議案 会則の一部改定の件
- 第 2 号議案 2019 年度（2019 年 7 月～2020 年 6 月）事業報告
- 第 3 号議案 2019 年度（2019 年 7 月～2020 年 6 月）決算報告・監査意見書
- 第 4 号議案 2020 年度（2020 年 7 月～2021 年 6 月）事業計画及び予算案
- 第 5 号議案 役員選任の件

## 第1号議案 会則の一部改定の件

日本作業科学研究会理事会における審議の結果、以下の一部改定を提案します。

### 【改定箇所と改定理由】

#### 1. 第1章 第3条 1., 第3章 第6条

本研究会では設立以降、毎年開催される学術集会を会則では学術研究会とし、開催案内等ではOSセミナーと呼称してきた。集会の目的と特徴が明確になるよう、名称を学術大会と改定し統一する。

#### 2. 第1章 第4条, 第35条

本研究会では会員の構成を正会員と学生会員としてきた。本研究会の発展に伴い、顕著な功労があった個人の功績に対して、名誉会員を新設し、その年会費を免除するように改定する。

#### 3. 第1章 第6条

本研究会会員の任意の退会を定めるため、手続き方法を記した第6条を新設する。

### 新旧対応表（改定案をアンダーラインで示す）

新	旧（案）
第1章 総則 （会費） 第3条 1. <u>学術大会</u> の開催	第6章 総則 （会費） 第3条 1. <u>学術研究会</u> の開催
第2章 会員 （会員と入会） 第4条 1. 正会員：個人で所定の様式（別記第1号様式の1）にて入会手続きを行い、当該年度の会費を納めたもの。 2. 学生会員：個人で所定の様式（別記第1号様式の2）にて入会手続きを行い、当該年度の会費を納めた学生（大学院生を含む）。 3. <u>名誉会員：この研究会に顕著な功労があり、理事会が推薦し、定期総会において承認をうけたもの。</u>	第2章 会員 （会員と入会） 第4条 1. 正会員：個人で所定の様式（別記第1号様式の1）にて入会手続きを行い、当該年度の会費を納めたもの。 2. 学生会員：個人で所定の様式（別記第1号様式の2）にて入会手続きを行い、当該年度の会費を納めた学生（大学院生を含む）。
<u>（任意退会）</u> <u>第6条</u>	（新設）    （新設）

<p><u>1. 会員は、個人で所定の様式（別記第1号様式の3）にて退会届を提出することにより、任意でいつでも退会することができる。</u></p> <p>第3章 <u>学術大会大会長</u> (<u>学術大会大会長</u>)</p> <p>第6条 第3条1項の事業を行うための<u>学術大会大会長</u>は、正会員の中から選任し、原則として担当する年度の2年以前に行う。 <u>学術大会大会長</u>は<u>学術大会</u>の企画・運営を必要に応じ本部事務局と連絡をとりながら行う。</p> <p>(会費)</p> <p>第35条</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正会員：年会費 3,000円</li> <li>2. 学生会員：年会費 1,000円</li> <li><u>3. 名誉会員：年会費 なし</u></li> <li><u>4. 既納の年会費及びその他の拠出金は返還しない。</u></li> <li><u>5. 会費の改訂は総会において決定する。</u></li> <li><u>6. 会員は年度初め2ヶ月以内に当該年度の会費を納入するものとする。</u></li> </ol>	<p>第3章 <u>学術研究会長</u> (<u>学術研究会長</u>)</p> <p>第6条 第3条1項の事業を行うための<u>学術研究会長</u>は、正会員の中から選任し、原則として担当する年度の2年以前に行う。 <u>学術研究会長</u>は<u>学術研究会</u>の企画・運営を必要に応じ本部事務局と連絡をとりながら行う。</p> <p>(会費)</p> <p>第35条</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正会員：年会費 3,000円</li> <li>2. 学生会員：年会費 1,000円</li> <li>3. 既納の年会費及びその他の拠出金は返還しない。</li> <li>4. 会費の改訂は総会において決定する。</li> <li>5. 会員は年度初め2ヶ月以内に当該年度の会費を納入するものとする。</li> </ol>
---	---

## 第2号議案 2019年度（2019年7月～2020年6月）事業報告

### 【総括】

#### 1. 会議運営

- 1) 定期総会の開催：2019年11月23日
- 2) 理事会開催：第1回2019年10月17日～23日（オンライン）  
第2回2019年11月23日  
第3回2020年5月23日（オンライン）  
第4回2020年6月27日（オンライン）  
第5回2020年8月11日（オンライン）

事業計画，及び進捗状況について検討.

3) 三役会 (拡大三役会含む)

第1回 2020年1月25日 (オンライン)

第2回 2020年2月23日 (オンライン)

第3回 2020年4月13日 (オンライン)

## 学術委員会

### 【機関誌編集班】

1. 機関誌「作業科学研究」第13巻発刊予定. テーマ「参加とコラボレーション」
2. 第14巻企画 テーマ「変容する作業と未来」
3. J-Stage の掲載に関わるシステムの確立
4. 論文投稿の促進
5. 編集方針と査読規程の見直し
6. 編集業務の事業委託の検討と準備
7. 印刷業者の変更

### 【研究推進班】

1. 第8回作業科学にまつわる研究法研修会開催検討  
2020年6月開催予定であったが，コロナウイルス感染拡大のため中止.

### 【実践につなげる班】

1. 第6回作業科学を実践につなげる研修会開催検討  
2020年5月開催予定であったが，コロナウイルス感染拡大のため中止.

### 【啓発・国際班】

1. JOS26 巻2号～以降の抄録翻訳
2. 25巻1, 2, 3, 4号の書評を研究会サイトと機関紙に掲載
3. ISOS 活動

## 広報・ネットワーク委員会

### 【ホームページ担当】

1. 日本作業科学研究会ホームページ管理・運営
2. ホームページ掲載内容の更新
3. IT 管理者の雇用契約
4. 各担当部署との連携およびホームページ掲載
5. 各地の勉強会情報を掲載

6. Facebook を活用してホームページ情報の拡散
7. 研修会情報の発信

#### 【研究会ニュース担当】

1. 作業科学研究会ニュースー作ら、さくらー逐次ニュース ML 配信と HP 掲載

#### 【メーリングリスト担当】

1. メーリングリストの管理運営

### 学術大会（作業科学セミナー）

1. 第 23 回作業科学セミナー（茨城県）の開催

テーマ:変容する作業と未来～先端テクノロジーは作業の何をどう変えるのか

日時：2019 年 11 月 23 日（土）10:00～18:10 11 月 24 日（日）9:00～15:00

場所：茨城県立医療大学

参加状況：事前受付両日（正会員：55 名，非会員：30 名，大学院生：7 名、学部生：1 名），事前受付 1 日（正会員：7 名，非会員：12 名），当日受付両日（正会員：3 名，非会員：3 名，大学院生：1 名），当日受付 1 日（正会員：1 名，非会員：11 名），学生 14 名 計 145 名参加  
収支：収入 1,466,101 円（研究会補助 10 万円，広告等含む），支出 1,293,003 円，残金 173,098 円

2. 第 24 回学術大会（広島県）の準備

2020 年 10 月開催予定であったが，コロナウィルス感染拡大のため中止

### 事務局

1. 総会の開催準備，理事会開催準備
2. 会員基本データの管理
3. 財務
  - 1) 2019 年度予算執行の管理
  - 2) 2019 年度決算報告書の作成
  - 3) 2020 年度予算案の作成
4. 会費の徴収方法の検討と整備
5. 会員への研究会・作業科学関連情報の情報伝達
6. 公文書の発行
7. 刊行物（機関誌）の発送と保管
8. 日本学術会議協力研究団体への申請作業

### 選挙管理委員会

1. 2020 年度役員選挙の準備

第3号議案 2019年度（2019年7月～2020年6月）決算報告・監査意見書

収入の部			(単位：円)
項目	2019年度予算案	2019年度収入決算	摘要
会費	635,000	651,000	3,000円×217名（正会員） 1,000円×0名（学生会員）
事業費	270,000	180,578	機関誌代，研修会等収入，許諾費用
寄付金収入	20,000	231,312	会員の寄付
雑収入	4	6	利子
収入計（A）	925,004	1,062,896	
繰越収支差額	475,772	475,772	
収入計（B）	1,400,776	1,538,668	
支出の部			(単位：円)
項目	2019年度予算案	2019年度支出決算	摘要
消耗品費	0	100	(印刷用紙費等)
通信運搬費	20,000	26,915	振込手数料，機関誌郵送料等
会議費	0	0	(理事会会議代)
印刷製本費	450,000	403,375	機関誌印刷・発送代
旅費交通費	70,000	0	理事旅費
諸謝金	0	0	
給料手当	0	0	
委託費	180,000	169,360	HPサーバー管理費，IT管理費
賃借料	0	0	
事業費	200,000	0	
予備費	0	0	
支出合計（C）	920,000	599,750	
単年度収支差額（A-C）	5,004	463,146	
収支差額（B-C）	480,776	938,918	



## 【監事意見書】

会計監査報告

### 監 事 意 見 書

日本作業科学研究会  
会長 古川 ひろみ様

意見書作成 令和2年8月 /2日  
日本作業科学研究会

会計監事 若井 亜矢   
会計監事 丹羽 恭代 

1. 私たちは、日本作業科学研究会会則第6章第33条、第34条に基づき、令和元年7月1日から令和2年6月30日までの会計年度の本会の財務諸表、すなわち収支計算書を監査いたしました。
2. 財務諸表の監査にあたっては、私たちが必要と認めた監査手続きを実施いたしました。
3. 監査の結果、私たちは、上記財務諸表が正確に作成されており、本会の令和2年6月30日現在の財務状態において会計年度を適正に表示しているものと認めます。

上記のとおり、監査の意見を報告します。

以上

## 第4号議案 2020年度（2020年7月～2021年6月）事業計画及び予算案

### 【総括】

1. 会議運営
  - 1) 総会の開催（2020年8月）
  - 2) 理事会、三役会開催（2020年8月総会以降定期開催、必要に応じてメール会議）
2. 研究会運営
  - 1) 学術団体維持のための努力（研究者会員割合の維持）
  - 2) 収入増のための努力（会員増，事業の多様化による収入増）
  - 3) 選挙後の新体制への継承（目的と方針の確認）
  - 4) 韓国作業科学研究会との協働推進
  - 5) 1年延期された年次大会（第25回）協力

### 学術委員会

#### 【機関誌編集班】

1. 機関誌「作業科学研究」第14巻発刊予定．テーマ「変容する作業と未来」
2. 第15巻企画 テーマ「未定」
3. 投稿規定・執筆要綱の見直し
4. 論文掲載スタイルの見直し
5. 論文投稿の促進
6. 論文掲載料に関する検討

#### 【研究推進班】

1. 「第8回作業科学にまつわる研究法研修会」開催予定

日時：2021年5～6月頃に開催予定

内容：初学者には「研究を行うための知識の理解」を，大学院生や研究を行っている人には「自身の考えを磨き作業の研究手法や狙い，対象への理解」を目的とし「作業や作業科学にまつわる研究計画の立案」を行う．

場所：東京（杏林大学）を予定．オンラインでの研修会開催も検討する．

予算：研修会より会場費としての補填予算としての5万円を計上．

#### 【実践につなげる班】

1. 第6回作業科学を実践につなげる研修会開催

基礎的内容の研修を企画実施する予定．研修内容・開催方法はオンラインを含め今後検討

会期：未定



#### 【啓発・国際情報班】

1. JOS27 巻第 2 号～以降の抄録の翻訳
2. 25 巻 1, 2, 3, 4 号の書評を研究会サイトと機関誌に掲載

#### 広報・ネットワーク委員会

##### 【ホームページ担当】

1. 日本作業科学研究会ホームページ管理・運営
2. ホームページ掲載内容の更新
3. IT 管理者の雇用契約
4. 各担当部署との連携およびホームページ掲載
5. 各地の勉強会情報を掲載
6. Facebook を活用してホームページ情報の拡散
7. 研修会情報の発信

##### 【研究会ニュース担当】

1. ニュース作成、さくらの逐次ニュース ML 配信
2. 上記内容のうちから HP 掲載
3. 掲載情報の収集

##### 【メーリングリスト担当】

1. メーリングリストの管理運営

#### 学術大会（作業科学セミナー）

1. 日本作業科学研究会第 24 回学術大会開催準備  
テーマ：日々の暮らしを彩る作業  
大会長：山根伸吾  
場所：県立広島大学三原キャンパス

#### 特設委員会

1. オンライン研修特設委員会の設置と研修会の開催

#### 事務局

1. 総会の開催準備, 理事会開催準備
2. 会員基本データの管理
3. 財務
  - 1) 2020 年度予算執行の管理
  - 2) 2020 年度決算報告書の作成
  - 3) 2021 年度予算案の作成

4. 会費の徴収
5. 会員への研究会・作業科学関連情報の情報伝達
6. 公文書の発行
7. 刊行物（機関誌）の保管
8. 日本学術会議協力研究団体からの情報管理

2020年度（2020年7月1日～2021年6月30日）予算案

収入の部

(単位：円)

項目	2019年度決算額	2020年度予算案	摘要
会費	651,000	635,000	3,000円×210名（正会員） 1,000円×5名（学生会員）
事業費	180,578	100,000	研修会等収入50,000円×2回
寄付金収入	231,312	0	
雑収入	6	5	利子
収入計（A）	1,062,896	735,005	
繰越収支差額	475,772	938,918	
収入計（B）	1,538,668	1,673,923	

支出の部

(単位：円)

項目	2019年度決算額	2020年度予算案	摘要
消耗品費	100	1,000	(印刷用紙費, ラベル代等)
通信運搬費	26,915	10,000	振込手数料, 機関誌郵送料等
会議費	0	20,100	(理事会オンライン使用契約)
印刷製本費	403,375	450,000	機関誌印刷・発送代
旅費交通費	0	0	
諸謝金	0	0	
給料手当	0	0	
委託費	169,360	180,000	HPサーバー管理費, IT管理費
賃借料	0	0	
事業費	0	200,000	学術大会補助金 100,000円 研修会補助金 50,000円×2回
予備費	0	0	
支出合計（C）	599,750	861,100	
単年度収支差額（A-C）	463,146	▲126,095	
収支差額（B-C）	938,918	812,823	

## 第5号議案 役員選任の件

2020年度役員選挙（2020年7月6日付公示，2020年7月22日締め切り）を実施しました。その結果、理事、監事ともに立候補者数が定数と一致しましたので、全員が無投票当選となります。

### 【理事】

山根 伸吾	藍野大学
ボンジェ ペイター	東京都立大学
高木 雅之	県立広島大学
中塚 聡	諏訪共立病院
齋藤 さわ子	茨城県立医療大学
港 美雪	茨城県立医療大学（非常勤）
坂上 真理	札幌医科大学
今井 忠則	北里大学
近藤 知子	杏林大学

計9名

### 【監事】

若井 亜矢子	札幌リハビリテーション専門学校
西野 歩	NPO 煌めく返り花

計2名

資料1 日本作業科学研究会役員・委員名簿（2019年度）

<役員>

---

会長 (総括担当)	吉川 ひろみ	県立広島大学
副会長 (ホームページ担当、メーリングリスト担当、実践につなげる班担当)	西方 浩一	文京学院大学
副会長 (機関誌編集班、研究会ニュース担当)	西野 歩	特定非営利活動法人煌めく返り花代 表理事
理事 (啓発・国際情報班担当、 研究推進班担当)	小田原 悦子	自宅
理事 (事務局担当)	坂上 真理	札幌医科大学
理事 (研究推進班担当)	中塚 聡	諏訪共立病院
理事 (機関誌編集班担当)	ボンジェ ペイター	東京都立大学
理事 (実践につなげる担当)	港 美雪	茨城県立医療大学
理事 (機関誌編集班、 ホームページ担当)	山根 伸吾	藍野大学
監事	丹羽 恭代	自宅
監事	若井 亜矢子	札幌リハビリテーション専門学校

---

<委員>

メーリングリスト担当：上江洲 聖（日赤安謝複合福祉施設）

機関誌編集班：青山真美（一般社団法人アイアム）、村井真由美（愛と結の街）、  
近藤知子（杏林大学）、坂根勇輝（丹波中央病院）、中嶋克行（山陽小野田市役所）、  
大下琢也（嶋田病院）、  
浦郷友輔（おかもとリハビリ訪問看護ステーション）

実践につなげる班：渡辺慎介（専門学校 YIC リハビリテーション大学校）、  
大谷将之（障がい者支援センター「てらだ」）

研究会ニュース担当：藤井有里（関西福祉科学大学）

啓発・国際情報班：鹿田将隆（常葉大学）、馬場博規（磐田市立総合病院）

研究推進班：近藤知子（杏林大学），渡辺慎介（専門学校 YIC リハビリテーション大学校）  
 事務局：村上典子（リハビリテーションうるまの虹），土谷里織（新さっぽろ脳神経外科病院）  
 第 23 回学術大会（作業科学セミナー）大会長：齋藤さわ子（茨城県立医療大学）  
 第 24 回学術大会大会長：山根伸吾（藍野大学）

資料 2 日本作業科学研究会 組織図

2020 年 8 月 15 日現在

